



プレゼンボード編

完成図	2	4 ボードの確認	12
1 外観パースの画像を準備する	3	ボードを確認する	12
背景を変更する	3	ボードの名称を変更する	12
立体に影をつける	3	[補足] ボードを追加するには	13
視点を設定する	4	[補足] ボードの削除・並び替え	13
レンダリングを実行する	5	5 画像の配置	14
2 平面・立面パースの画像を準備する	8	プレゼン画像を配置する	14
[補足] プログラム固定の視点を使って、		部品のカタログ画像を配置する	15
パース画像を自動作成する	9	カギ線を入力する	15
[補足] 任意に登録した視点の		[補足] プラン変更があった場合には	16
パース画像を自動作成する	10	6 ボードの印刷	17
3 プレゼンボードの新規作成	11	[補足] PDF・画像に出力するには	17
プレゼンボードに切り替える	11	[補足] 作成したプレゼンボードを	
テンプレートを指定する	11	テンプレートとして登録するには	18

完成図

プレゼンボードを作成する前に、ボードで使用する外観パース、平面図や立面図などの画像を作成しましょう。そして、テンプレートを使ってプレゼンボードを作成していきましょう。

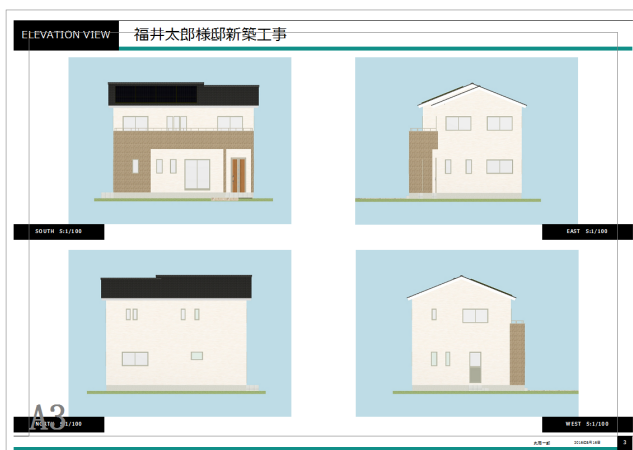
※ 本書は、「プラン作成編」で作成したデータを使用して解説しています。



【表紙】



【平面図】



【立面パース】



【外観パース】

1 外観パースの画像を準備する

ボードで使用する外観パースの画像を作成しましょう。

背景を変更する

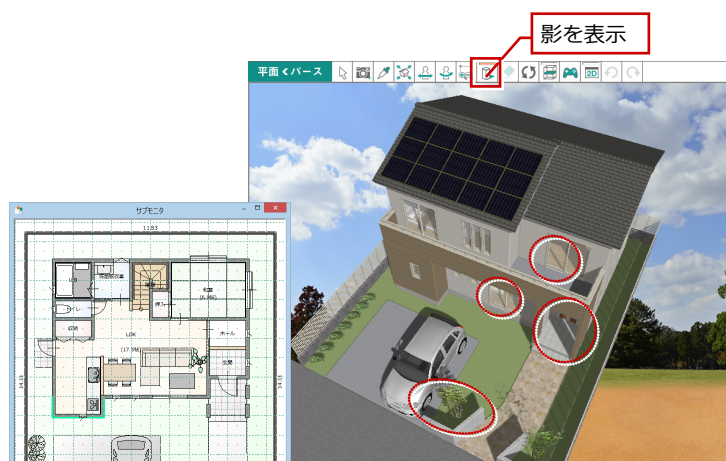
「設定」ダイアログの「共通」タブを選び、「立体表示」をクリックして、「イメージ」に変更します。



立体に影を付ける

パース画面に切り替えて、ツールバーの「影を表示」を ON にし、建物に影を付けてパースを確認しましょう。

立体に影が作成され、室内には日が差し込んでいるのを確認できます。

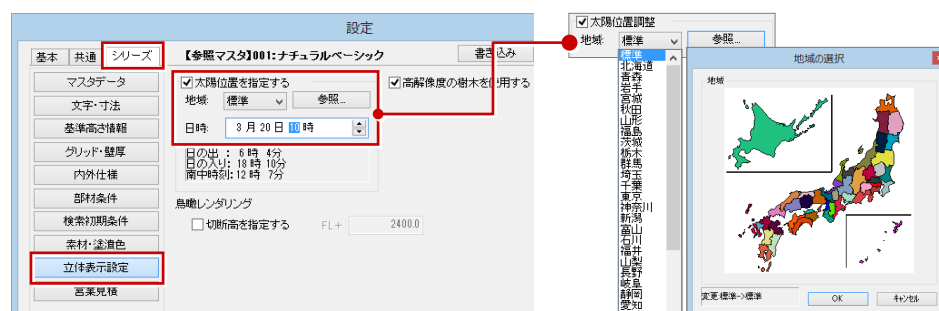


【影を表示：ON】

太陽の位置

「影を表示」を ON にして影を付けたときの太陽の位置は、「設定（シリーズ - 立体表示設定）」の「地域」「日時」で、太陽の位置を設定することができます。

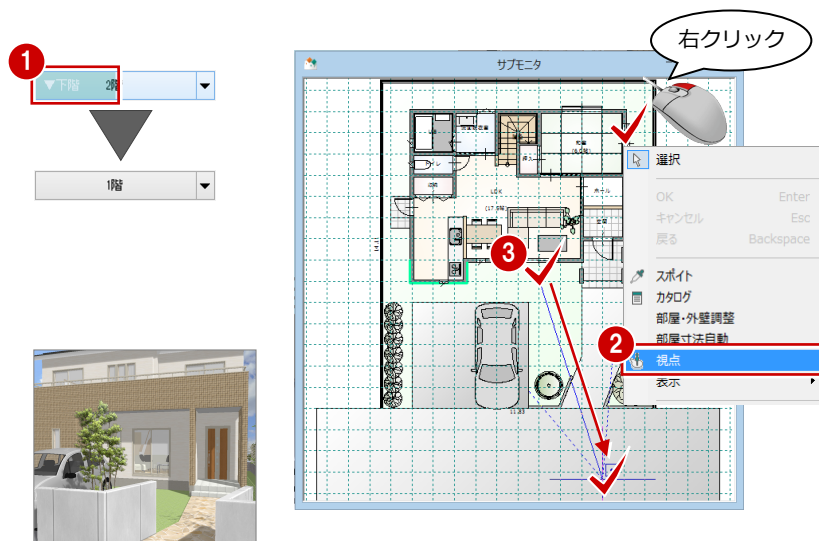
- ※ 「影を表示」を ON のとき、「太陽位置調整」を ON にすることはできません。
- ※ 「影を表示」は、「夜」のシーンのときには使用できません（⇒ シーンについては P.9 参照）。
- ※ この設定は、レンダリング時の太陽位置の初期値となります。



視点を設定する

外観パースで使用するアングルを決めます。

- ① 「1階」を表示します。
- ② サブモニタで右クリックして、ポップアップメニューから「視点」を選びます。
- ③ 注視点 ⇒ 視点位置をクリックします。



- ④ パース画面で、ポップアップメニューから「視野角」の「外観向け」を選びます。



- ⑤ マウス操作で視点位置を下げ、若干見上げたようなアングルに変更します。

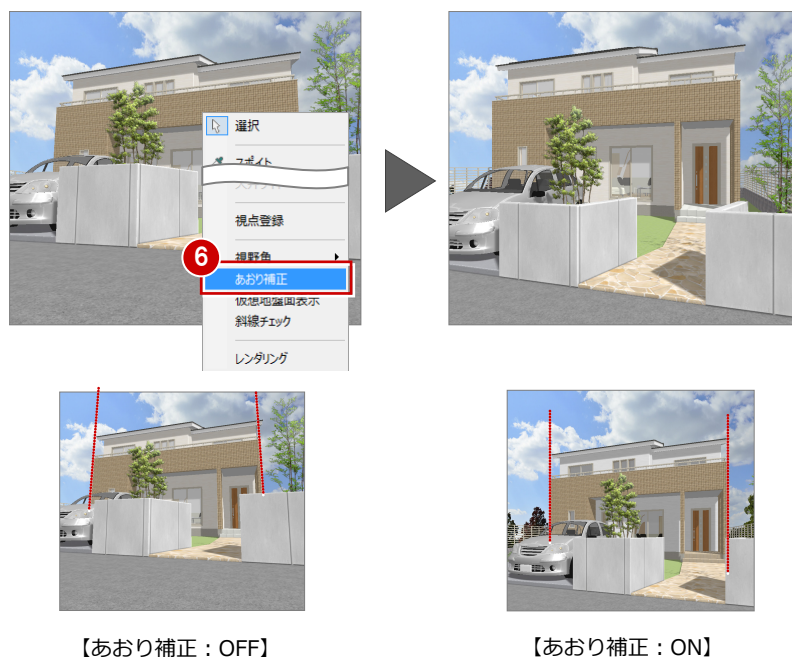


マウス操作による視点設定

マウス操作については、「基本操作編」P.17 を参照してください。

- ⑥ パース画面で、ポップアップメニューの「あおり補正」を ON にします。

※ OFF にするときには、再度同コマンドをクリックします。



- ⑦ マウス操作で視点位置を下げ、若干見上げたようなアングルに変更します。



あおり補正時のマウス操作

「あおり補正」が ON と OFF では、マウス操作による立体の回転・移動の動きが異なります。

例えば、右ボタンのドラッグによる回転の場合、マウスを下方へドラッグすると、建物の奥側が上がり、マウスを上方へドラッグすると、建物の奥側が下がるような動きになります。

レンダリングを実行する

－ 外観の画像を作成する －

パースのアングルが決まったら、レンダリングを実行して外観パースの画像を作成してみましょう。

- ① 「画像・確認」の「レンダリング」をクリックします。

- ② レンダリングの条件を設定します。

「品質」：高品質（外観）

「画像サイズ」：メイン画像サイズ

「太陽位置を指定する」：ON

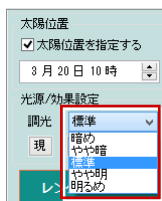
「日時」：3月20日10時

- ③ 「レンダリング開始」をクリックします。
処理が始まります。



光源の明るさを調整するには

レンダリング時の光源の明るさを調整したい場合は、「レンダリング」ダイアログの「調光」を設定します。「暗め」「やや暗」「標準」「やや明」「明るめ」の中から目的の明るさに切り替えて、レンダリングを実行します。



画像サイズについて

・「メイン画像サイズ」

基本的に現在のメイン画面のサイズをベースにして画像を作成するため、パース画面の表示のままで画像を作成できます。

・その他の画像サイズ（小・中・大・特大・パノラマ画像）

画像サイズを決めて作成する場合に使用します。

ただし、指定した画像サイズとパース画面のサイズは異なるため、パース画面の表示状態とは同じ作成範囲にはなりません。両サイドや上下が若干切れたり、余分な範囲まで作成することがあるので注意が必要です。



【メイン画像サイズ（925×826）】



【小（800×600）】

「通常」と「高品質（外観）」の違い

レンダリングの品質には、「通常」「高品質」があり、右図のように作成される画像が異なります。

品質	外観	内観	鳥瞰
通常	○	○	○
高品質（外観）	○	×	×
高品質（内観）	×	○	×
高品質（鳥瞰）	×	×	○



全体的に均一な明るさになり、陰影の表現も均一となる。また、処理が速いので、大まかなイメージ確認に向いている。

【通常】



影になる部分と明るい部分のメリハリがつき、立体感のあるパースを作成できる。処理は「通常」よりも若干長くなる。

【高品質】

－ 画像をトリミングする －

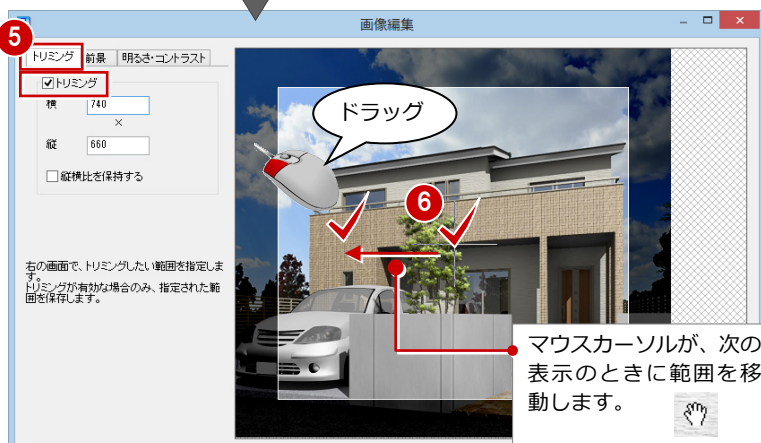
レンダリングした画像において、必要な部分だけを切り出してみましょう（トリミング）。

④「レンダリング」ダイアログの「画像編集」をクリックします。

⑤「トリミング」タブの「トリミング」をONにします。

⑥ モニタに表示されている白枠内でドラッグして、範囲を移動します。

⑦ モニタに表示されている白枠の角をドラッグして、範囲を変形します。



⑧ 範囲が決まったら、「保存して終了」をクリックします。

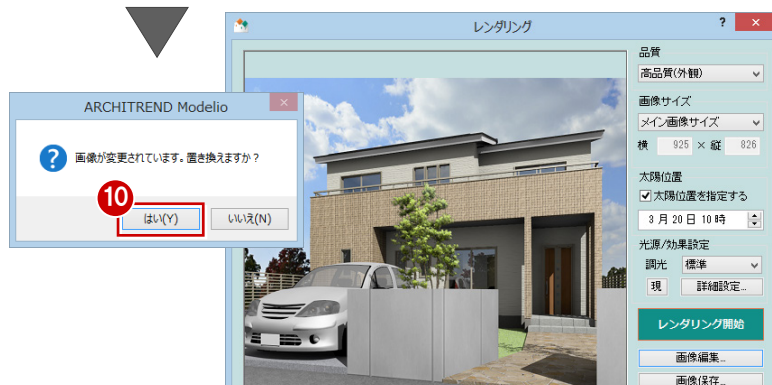
⑨ 終了の確認画面で「はい」をクリックします。

⑩ 画像変更の確認画面で「はい」をクリックします。
「レンダリング」ダイアログに、トリミングされた画像が表示されます。



添景部品・明るさ調整

トリミングのほかに、添景部品の配置、画像の明るさ・コントラスト調整を行うことができます。



－ 画像を保存する －

作成した画像を保存します。

⑪ 「レンダリング」ダイアログの「画像保存」をクリックします。

⑫ ここでは「外観」タブの「玄関方向」をクリックします。

⑬ 「OK」をクリックします。



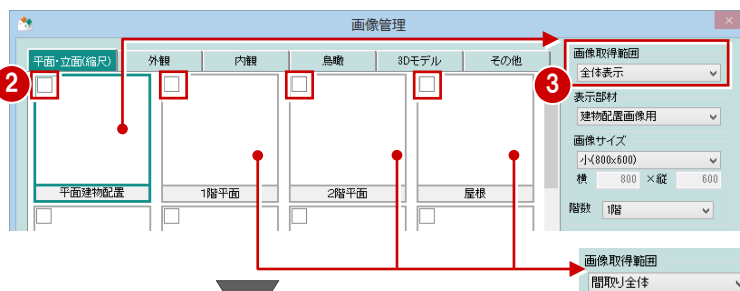
2 平面・立面パースの画像を準備する

ボードで使用する平面図や立面パースの画像を作成しましょう。

- 1 「画像・確認」の「画像管理」をクリックします。



- 2 「平面・立面（縮尺）」タブで、自動作成する「平面建物配置」「1階平面」「2階平面」「屋根」をONにします。



- 3 各画像の「画像取得範囲」を確認します。

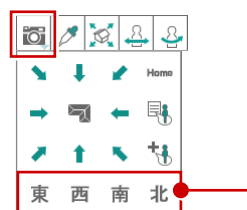
- 4 続けて、「東面」「西面」「南面」「北面」をONにします。



- 5 各面の「表示方位」で立面パースの方位を確認します。

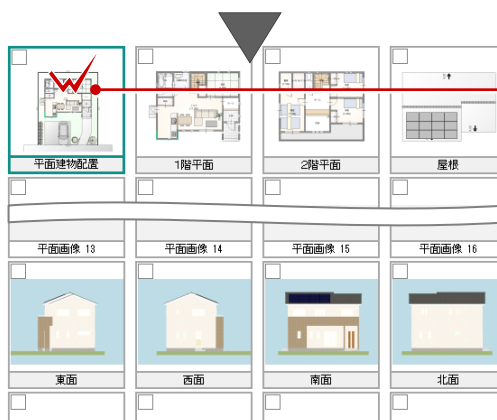
- 6 「自動作成」をクリックします。
画像の自動作成が開始します。

※ 表示方位が指すカメラは、「視点関連コマンド」の「東」「西」「南」「北」です。



立面パースの画像の品質

「画像管理」では、自動作成する立面パースは、レンダリングされていません。レンダリングした立面パースを作成するときは、「画像・確認」の「レンダリング」を使って、高品質などの画像を作成し保存してください。



サムネイル画像をダブルクリックして、画像を確認できます。



立面パースの背景色

「画像管理」で自動作成される立面パースの背景色には、「設定（共通設定－立体表示）」の「単色」で設定されている「背景1」の色が使用されます。



【補足】プログラム固定の視点を使って、パース画像を自動作成する

「画像管理」ダイアログでは、プログラム内部の視点を使って、画像を自動作成することができます。ただし、画像の品質は「通常」のものとなります。高品質で作成したいときは、「画像・確認」の「レンダリング」で処理を実行する必要があります。

－ 外観パースの画像を作成する －

- ① 「画像管理」ダイアログの「外観」タブをクリックします。
- ② 自動作成する「東方向」「西方向」「南方向」「北方向」を ON にします。
- ③ 各画像の「画像取得範囲」が「自動配置」であることを確認します。
- ④ 各画像の「レンダリングを行う」を ON にします。
- ⑤ 「自動作成」をクリックします。
画像の自動作成が開始します。
- ⑥ 画像を作成できたら、「閉じる」をクリックします。



－ 内観パースの画像を作成する －

自動作成する部屋を ON にした後、「画像取得範囲」で「部屋名」を指定して、画像を作成します。

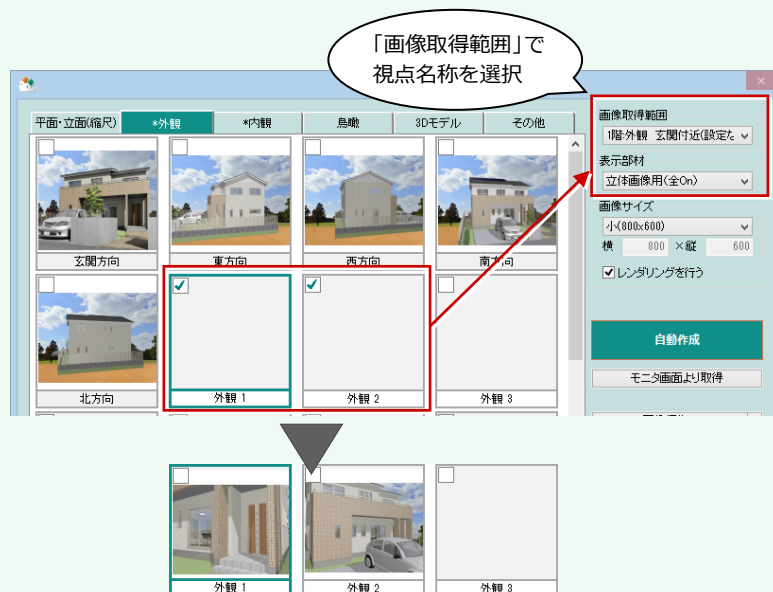
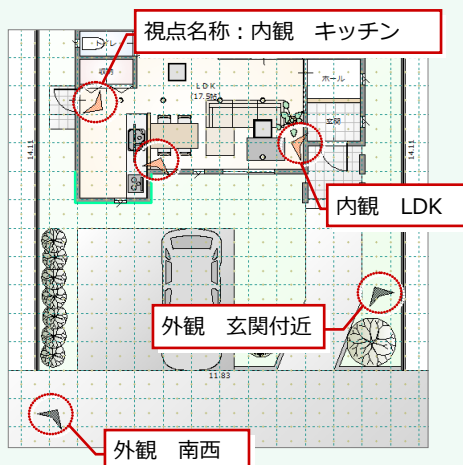


【補足】任意に登録した視点のパース画像を自動作成する

次のように任意の位置に外部・内部の視点に登録されていると、「画像管理」ダイアログの「画像取得範囲」に視点名称がリストアップされます。視点名称を選び、画像を自動作成することができます。ただし、画像の品質は「通常」のものとなります。高品質で作成したいときは、「画像・確認」の「レンダリング」で処理を実行する必要があります。

－ 外観パースの画像を作成する －

「外観 1～16」を使用します。



－ 内観パースの画像を作成する －

外観と同様に、外部に視点登録されている場合、「画像管理」ダイアログの「画像取得範囲」に視点名称がリストアップされるので、視点名称を選びます。

「内観 1～16」を使用します。



内部の視点属性

内観の視点登録時に「視点属性」を「1 階：玄関」のように部屋を指定しておくと、「画像管理」ダイアログの「内観」タブの各部屋では、自動的に内部の視点が割り当てられます。



3 プレゼンボードの新規作成

作成した画像、入力されている建材（建具、素材、部品）をもとに、プレゼンボードを作成してみましょう。

プレゼンボードに切り替える

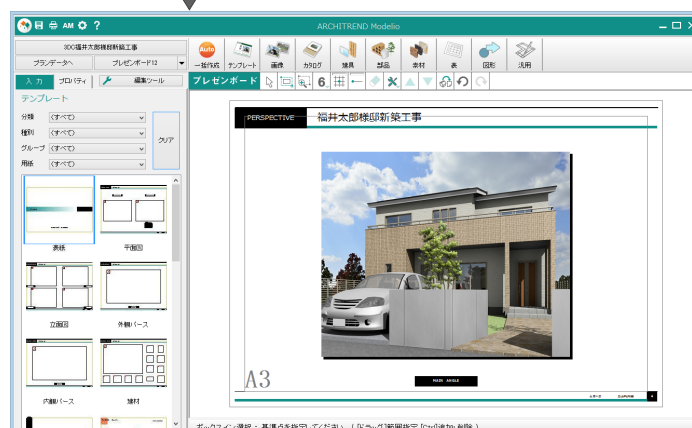
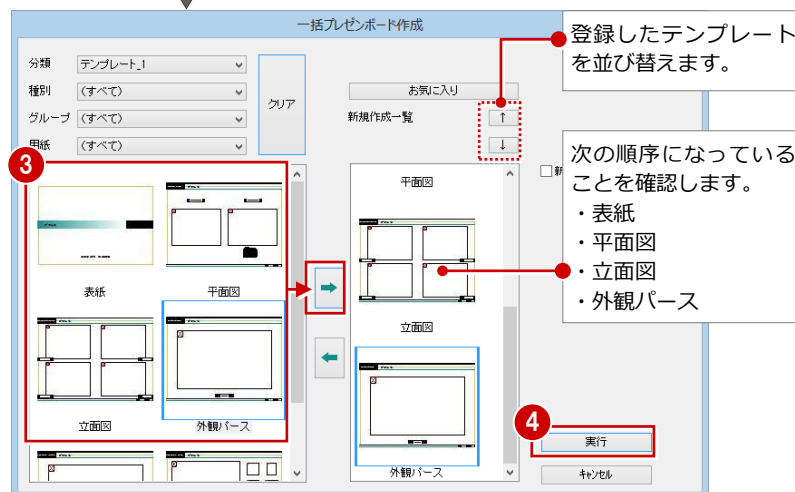
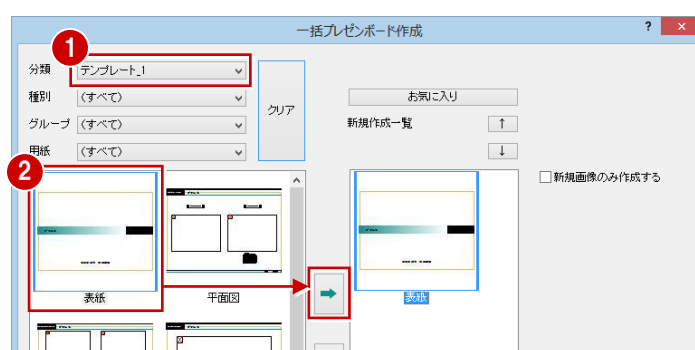
- 1 「プレゼンボードへ」をクリックします。

※ 初めてボードを作成するときは、「一括プレゼンボード作成」ダイアログが開きます。



テンプレートを指定する

- 1 ここでは、「分類」で「テンプレート_1」を選びます。
- 2 一覧からテンプレート「表紙」を選び、「→」をクリックします。
- 3 同様に、「平面図」「立面図」「外観パース」を登録します。
- 4 「実行」をクリックします。



4 ボードの確認

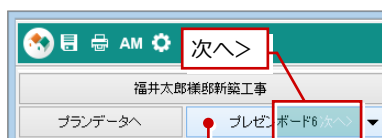
自動作成されたボードを確認して、ボードの名称を変更してみましょう。

ボードを確認する

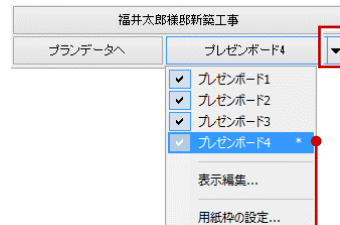
「<前へ」「次へ>」で面を変更して、ボードを確認してみましょう。



ボードの名称が表示されます。



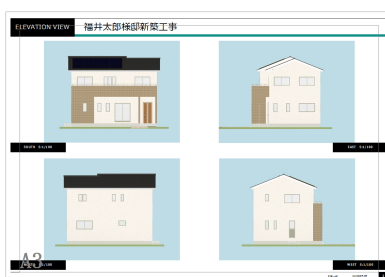
メニューからボードを変更することもできます。



※印は、現在開いているボードを示します。



【プレゼンボード 2】



【プレゼンボード 3】

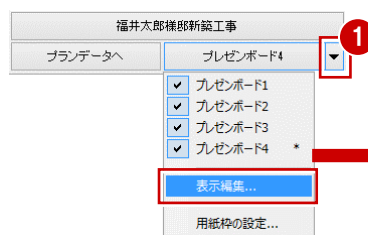


【プレゼンボード 4】

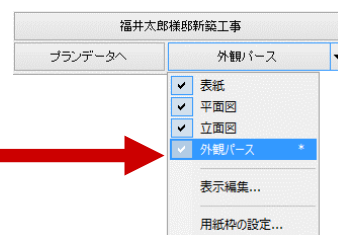
ボードの名称を変更する

表示しているボードを識別しやすく、またメニューからボードを選びやすくするため、名称を変更しましょう。

① 「▼」をクリックして「表示編集」を選びます。



【変更前】



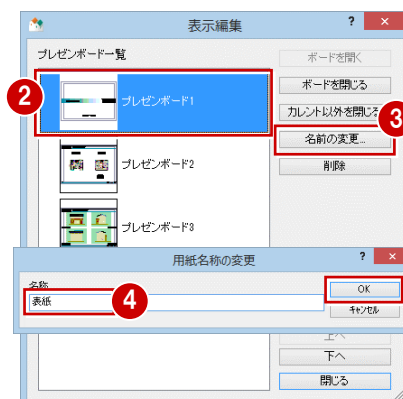
【変更後】

② ボードを選び、「名前の変更」をクリックします。

③ 名称を変更して、「OK」をクリックします。

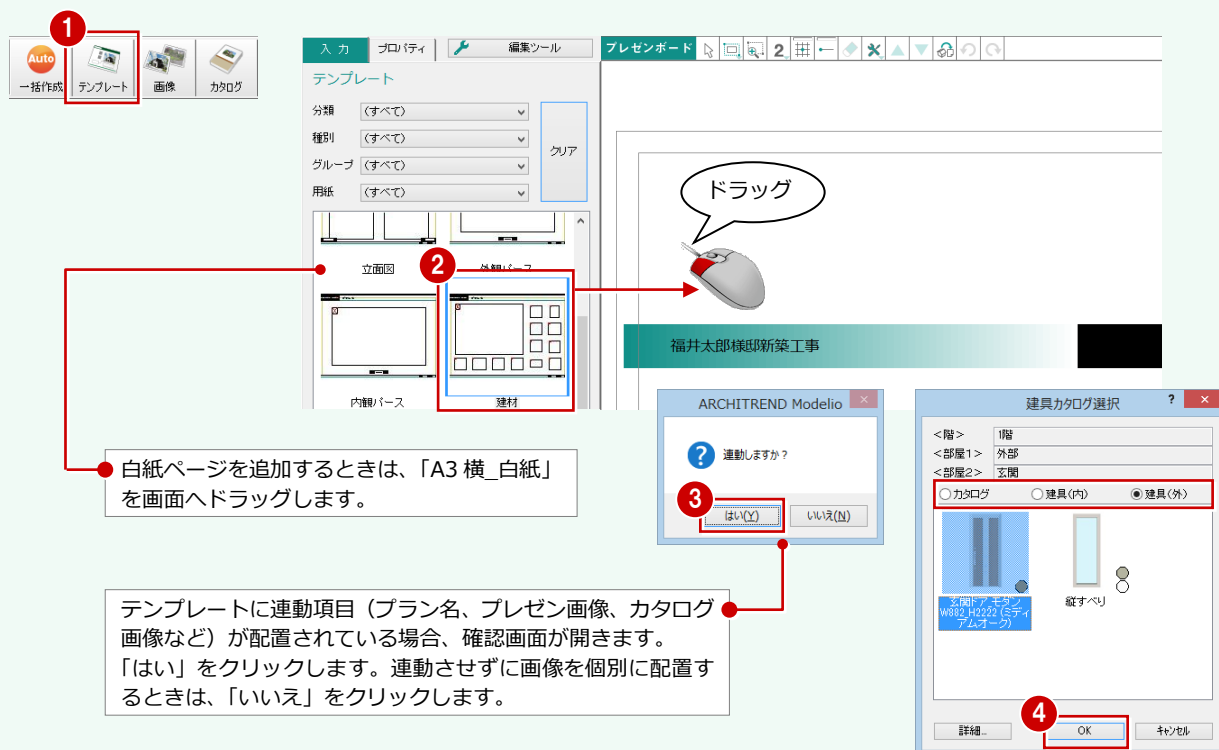
④ 残りのボード名も変更します。

⑤ 「閉じる」をクリックします。



【補足】ボードを追加するには

指定したテンプレートをボードに追加するには、次のように操作します。
ボードは、一番後ろに追加されます。



1 一括作成 テンプレート 画像 カタログ

2 ドラッグ

3 はい(Y) いいえ(N)

4 OK キャンセル

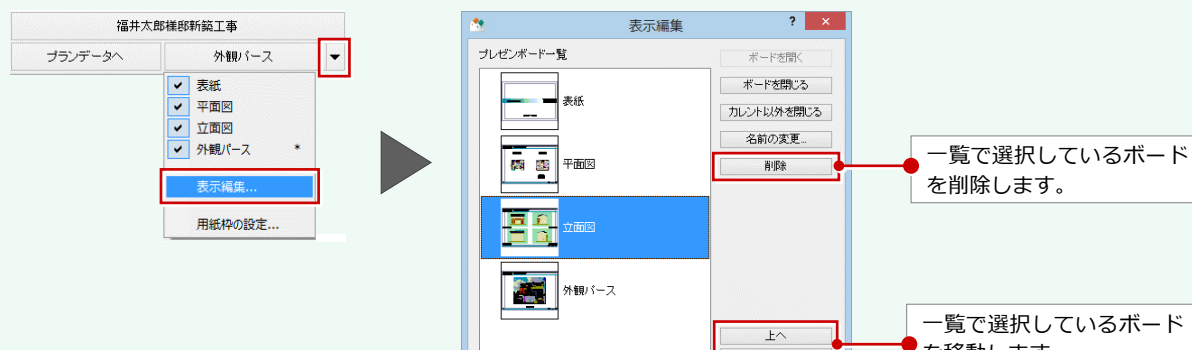
白紙ページを追加するときは、「A3 横_白紙」を画面へドラッグします。

テンプレートに連動項目（プラン名、プレゼン画像、カタログ画像など）が配置されている場合、確認画面が開きます。「はい」をクリックします。連動させずに画像を個別に配置するときは、「いいえ」をクリックします。

テンプレートにカタログ画像が配置されている場合、さらに、カタログ選択ダイアログが開きます。配置する画像のタイプを選び、「OK」をクリックします。

【補足】ボードの削除・並び替え

作成したボードの削除、並び替えは、「▼」メニューの「表示編集」で行います。
すべてのボードを削除したいときも、「表示編集」で行います。



福井太郎様邸新築工事

プランデータへ 外観パース ▼

表紙 平面図 立面図 外観パース *

表示編集...

用紙枠の設定...

表示編集

ボードを開く
ボードを閉じる
カレント以外を閉じる
名前の変更...
削除
上へ
下へ
閉じる

一覧で選択しているボードを削除します。

一覧で選択しているボードを移動します。

5 画像の配置

「画像管理」に登録されているプレゼン画像、カタログ画像を配置してみましょう

プレゼン画像を配置する

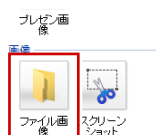
表紙に、「画像管理」に登録されている画像を配置してみましょう。

- ① ボード「表紙」を開きます。
- ② 「画像」の「プレゼン画像」をクリックします。
- ③ 「プレゼン画像」ダイアログで配置する画像を選び、「OK」をクリックします。
- ④ 「プロパティ」タブで画像サイズ、枠の有無などを設定します。
- ⑤ 画像の配置位置をクリックします。
- ⑥ 「キャンセル」をクリックします。



任意の画像ファイルを配置するには

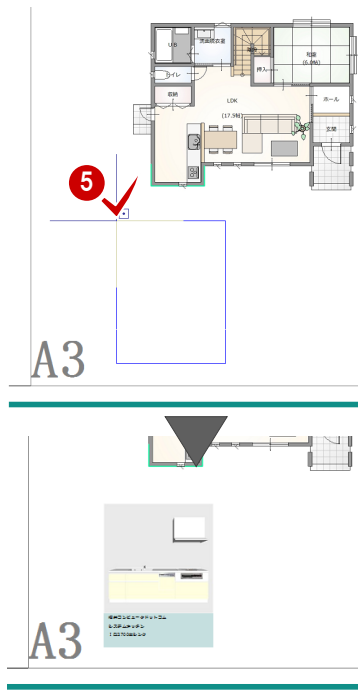
画像ファイル（PNG、BMP、JPEG）を配置するには、「ファイル画像」を使用します。



部品のカタログ画像を配置する

平面図にシステムキッチンのカタログ画像を配置します。

- 1 ボード「平面図紙」を開きます。
- 2 「カタログ」をクリックします。
- 3 「部品」ON にします。
- 4 パネルで、配置するカタログ画像を選びます。
- 5 画像の配置位置をクリックします。



プランに入力されていないカタログ画像

その他のカタログ画像は、「建具」「部品」「素材」で配置します。

また、プロパティのサムネイル画像をクリックして、他のカタログ画像に入れ替えることもできます。

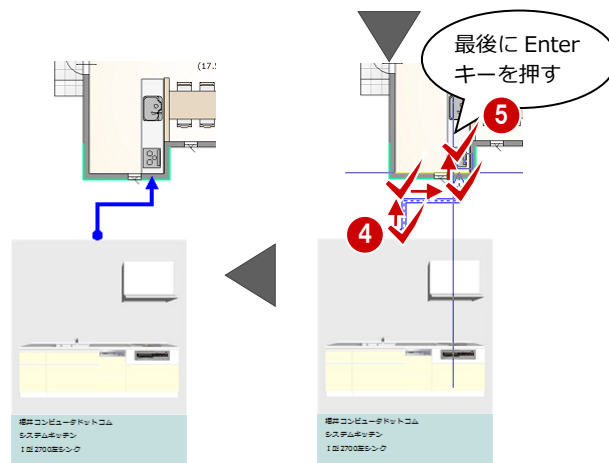
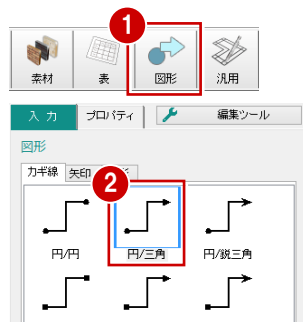


このパネルには、プランに入力されている部品のみが表示されます。

カギ線を入力する

ここでは、建具のカタログ画像と平面画像をカギ線で結んでみましょう。

- 1 「図形」をクリックします。
- 2 ここでは「円/三角」を選びます。
- 3 「プロパティ」タブの「単色」で塗り潰し色を変更します。
- 4 カギ線の入力点を順にクリックします。
- 5 最後に Enter キーを押します。



棟面積表などを配置するには

「表」をクリックし、配置する表を選んで配置します。




【補足】プラン変更があった場合には

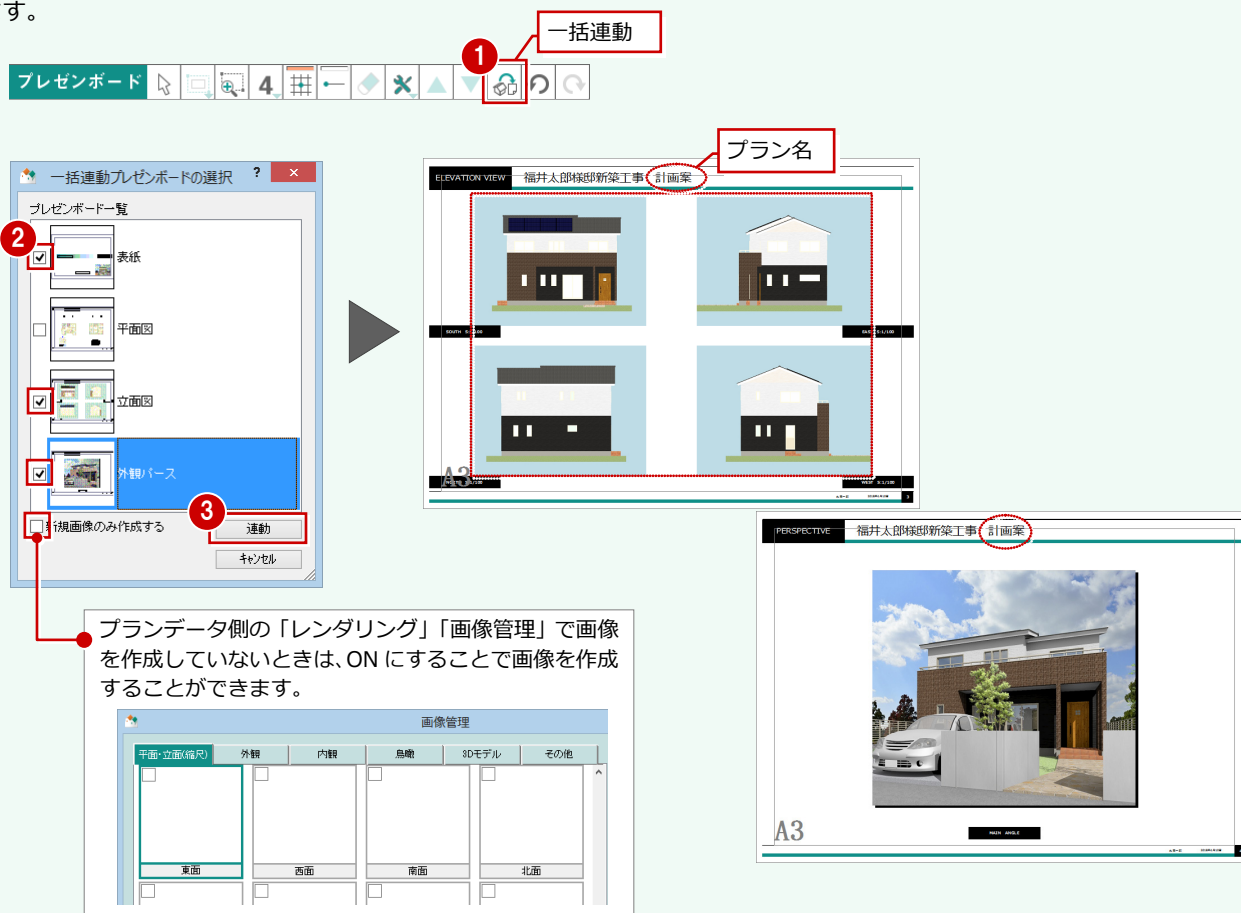
壁仕上、プラン名などプランデータに変更があった場合、ボードに配置したプレゼン画像、カタログ画像、プラン名などは自動的に更新されません。プレゼンボードの編集画面で、「一括連動」を使って更新します。

一括連動をする前に、プランデータの編集画面で、「レンダリング」の「画像管理」で関係する画像を更新してください。



プレゼンボードのプレゼン画像、カタログ画像などプロパティの「連動」が ON のデータは、「一括連動」で指定したボードの連動可能データを更新することができます。

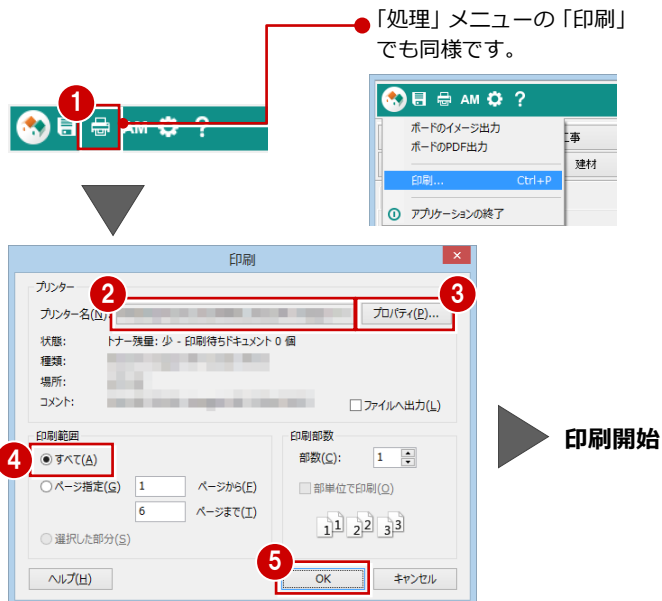
ただし、項目名などを任意に変更している場合は、プランデータの内容、建具・部品はマスタの内容で初期化されてしまいます。



6 ボードの印刷

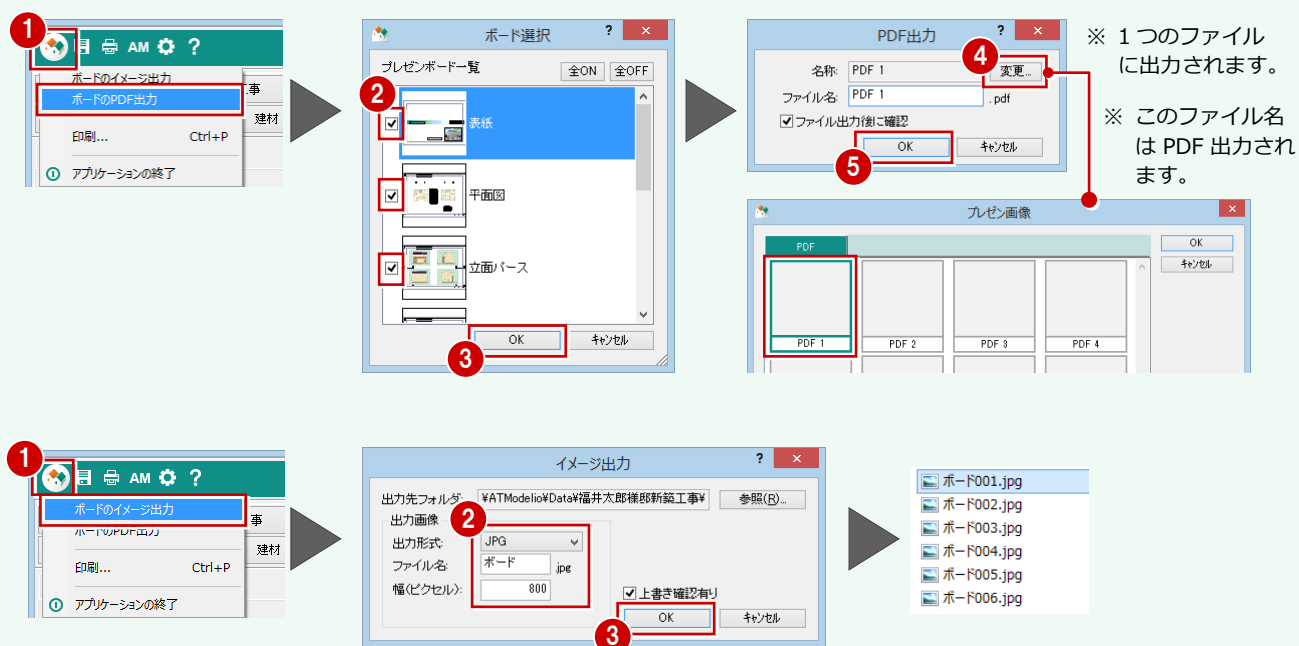
作成したボードを印刷してみましょう。

- 1 共通ツールバーの「印刷」をクリックします。
- 2 「印刷」ダイアログの「プリンタ名」で、プリンタを設定します。
- 3 「プロパティ」をクリックして、用紙サイズ、向きを設定します。
- 4 「印刷範囲」で「すべて」が ON であることを確認します。
- 5 「OK」をクリックします。
印刷が開始されます。



【補足】PDF・画像に出力するには

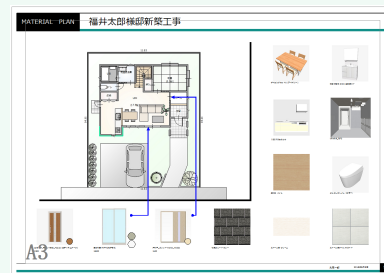
「処理」メニューの「ボードの PDF 出力」「ボードのイメージ出力」を使用します。



【補足】作成したプレゼンボードをテンプレートとして登録するには

プレゼン画像、カタログ画像、図形などを配置して、ボードを編集した場合、次回他のプランでも使用するには、テンプレートに登録しておきます。

※ 登録は、1 ボードごとに行います。複数まとめて登録することはできません。



- 1 テンプレートに登録するボードを開きます。



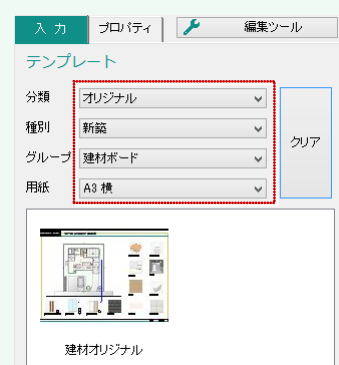
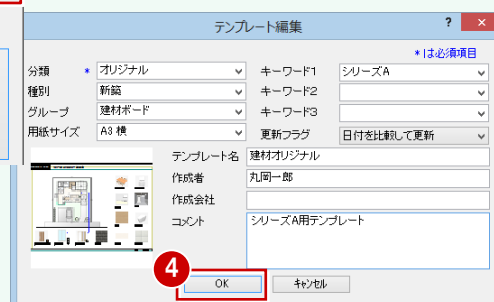
- 2 「テンプレート」をクリックします。



- 3 「編集ツール」メニューから「新規登録」を選びます。



- 4 「テンプレート編集」ダイアログで、テンプレートの分類、種別、名称などを設定して、「OK」をクリックします。



テンプレートの編集・削除

パネルで対象のテンプレートを選び、「編集ツール」メニューの「編集」「削除」を使用します。

テンプレートを他の PC で使用するには

3D カタログマスタで操作します。「Modelio」の「プレゼンボード」にある「一覧表示」をクリックして、テンプレートをエクスポートします。他の PC にて、同様に 3D カタログマスタでそのファイルをインポートします。

